

◇ 行事報告 ◇

8月18日（木）摩利支天月例祭

摩利支天月例祭とお盆の回向を執行しました。法話では、善無畏鈔（ぜんむいしょう）について話がありました。

善無畏三蔵という上人はあるとき頓死した後に蘇って語られた。私は死ぬとき、体中を鉄の縄で縛られ、鉄の棒でたたかれた。お経の一言も唱えられなかったが、ただ法華経のお題目は忘れなかった。お題目を一心に唱えたら縄が緩んできた。

声を大きくして「今此三界皆是我有、其中衆生悉是吾子、而今此处多諸患難、唯吾一人能為救護」と唱えたら、鉄の縄は砕けて無くなった。閻魔様が「この者は、今はまだ命が尽きていない」としたので、私はこの世へ帰ることができた。と。この経は欲令衆にあります。彼岸会・施餓鬼供養等によく読まれるのは、この善無畏鈔に基づくものです。皆様もお盆月、お彼岸月にはご先祖や有縁無縁の諸精霊に対して功德を差し上げましょう。とお話がありました。



本堂に八之巻（法華経全八巻）が日蓮聖人の前に置かれました。この巻物は九州在住の石橋妙宥上人からの御奉納です。

八の巻とは、釈尊の教説の極意が説かれているとされる「法華経」（妙法蓮華経）全28品を、八つの巻物に収めた経巻です。日蓮宗では、「法華経」を「所依（しよえ）の経典」としております。これは信仰に欠かせない対象でありますので、寺院教会の本堂では、正面の日蓮聖人の尊像の前に安置されております。

◇ 行事案内 ◇

摩利支天月例祭

10月18日（金）午前10時より執行いたします。

お会式法要

11月16日（土）お逮夜・翌17日（日）に執行いたします。

16日は午後6時より、17日は、午前10時より一座目、午後2時30分より最終座を始めさせて頂きます。（17日の一座目と最終座の間は随時）是非ご参加下さい。

担当世話人のおられる檀家の方は、10月にお渡しする右の写真の封筒を以て御浄財をお願いいたします。また、遠方の方は、10月のお便りに同封する振込用紙にて御浄財をお願いいたします。

功徳主	日蓮大聖人 報恩御会式 御寶前	来る十一月十七日午後六時から本了院妙法華寺 本堂で報恩御会式を執行しますのでご参詣ください
	浄財志納金	
	金	円
摩利支天大祭 兼上持尊像奉安式		
覚如山本了院 妙法華寺		



なお、従来、御浄財を頂いた方には紙御札とお菓子等をお返しさせて頂いておりましたが、今回より左の写真のような御札のみとさせて頂きます。この御札は御仏壇に安置して頂くものです。

御札の一番上にあります曼荼羅は災厄から護って下さるものです。その下に日蓮聖人の尊名と聖語をしるしてあります。今までの御札をどこに安置すれば良いのかとのお声もありましたので、このような形の御札を用意させて頂きました。後ろにスタンドが付いておりますので、自立して安置することができます。

一年を通じて日蓮聖人の威徳をご先祖様にお唱えし、功德をお積み下さい。

摩利支天大祭

11月18日（月）12年に一度の大祭を午前10時より執行いたします。

御札の申込の締め切りは10月10日となっております。申し込まれます方はお早めをお願いいたします。

御尊像札の拝み直しの方は御札を一ヶ月前に当たります10月18日頃までにお寺にご持参下さい。

尊像札は当日お渡しさせて頂きませんが、当日欠席または送付を希望の方はご面倒ですがお寺までご一報下されれば幸いです。

合 掌